

## IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:  
KATO, SEIJI  
Serial No:  
Filed: July 8, 2003  
For: FISHING LURE

Art Unit:  
Examiner:

**CERTIFICATE OF MAILING VIA U.S. EXPRESS MAIL**  
"Express Mail" Mailing Label No. **EU 823 777 280 US**  
**Date of Deposit: July 8, 2003**

Box PATENT APPLICATION  
Commissioner for Patents  
PO BOX 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

Dear Sir:

Certified copy of Japanese patent application No. U027000185 / JP 2002-004269  
which was filed July 11, 2002 from which priority is claimed in the subject case  
pursuant to 35 U.S.C. § 119  is enclosed  will follow

and is being deposited with the United States Postal Service "Express Mail Post Office to Addressee" service with sufficient postage under 37 C.F.R. § 1.10 on the date indicated above and are addressed to:

Box PATENT APPLICATION  
Commissioner for Patents  
PO BOX 1450, Alexandria, VA 22313-1450

Respectfully submitted,  
F. Jason Far-hadian, Esq.

Date: July 8, 2003

By:   
F. Jason Far-hadian, Esq.  
Registration No. 42,523  
Attorney for Applicant(s)

F. Jason Far-hadian, Esq.  
1200 Park Newport Drive, Suite 420  
Newport Beach, CA 92660  
Telephone: 310 - 789 - 2100

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2002年 7月11日

出願番号

Application Number:

実願2002-004269

[ST.10/C]:

[JP2002-004269 U]

出願人

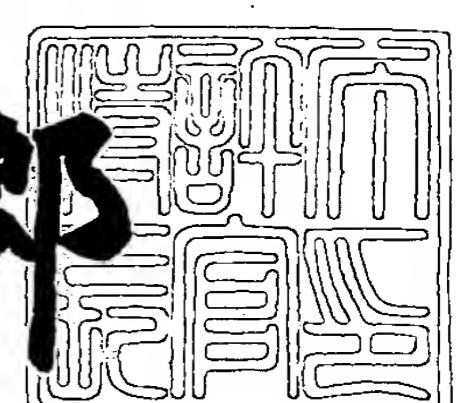
Applicant(s):

株式会社ジャッカル

2003年 2月21日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証実2003-3000020

【書類名】 実用新案登録願

【整理番号】 U027000185

【提出日】 平成14年 7月11日

【あて先】 特許庁長官 殿

【考案の名称】 プラスチックルアー

【請求項の数】 5

【考案者】

【住所又は居所】 滋賀県大津市今堅田3丁目18番17号 株式会社ジャッカル内

【氏名】 加藤 誠司

【実用新案登録出願人】

【識別番号】 300023235

【氏名又は名称】 株式会社ジャッカル

【代理人】

【識別番号】 100068032

【弁理士】

【氏名又は名称】 武石 靖彦

【電話番号】 (075)241-0880

【選任した代理人】

【識別番号】 100080333

【弁理士】

【氏名又は名称】 村田 紀子

【電話番号】 (075)241-0880

【選任した代理人】

【識別番号】 100110331

【弁理士】

【氏名又は名称】 ▲吉▼▲崎▼ 修司

【電話番号】 (075)241-0880

【納付年分】 第1年分から第3年分

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 039273

【納付金額】 47,300円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0101243

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【考案の名称】 プラスチックルアー

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 ルアーボディーの構造部分の一部に、軟質のプラスチック、軟質のシリコンあるいは軟質ゴムによる軟質構造部分を設け、ルアーボディーの一部が反復的に曲がるようになしたことを特徴とするプラスチックルアー。

【請求項 2】 前記ルアーボディーが硬質の構造部分と軟質の構造部分とで構成されており、前記軟質の構造部分によって前記硬質の構造部分が被覆されていることを特徴とする請求項 1 に記載のプラスチックルアー。

【請求項 3】 前記硬質の構造部分が、分離した少なくとも 2 つの部材からなり、前記少なくとも 2 つの部材を弾発性を有する弾発部材によって相互に連結してなり、前記ルアーボディーが、前記弾発部材のまわりに少なくとも 30 度以上屈曲するようになしたことを特徴とする請求項 1 あるいは請求項 2 に記載のプラスチックルアー。

【請求項 4】 前記分離した少なくとも 2 つの硬質部材が、ルアーボディーの長さ方向に背反する端部側に位置し、前記分離した少なくとも 2 つの硬質の部材に対して釣り針を取付けてなることを特徴とする請求項 3 に記載のプラスチックルアー。

【請求項 5】 前記弾発部材が、弾発性を有するワイヤー、形状記憶合金製の線状体あるいは板状体などでなることを特徴とする請求項 3 に記載のプラスチックルアー。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

この考案は、釣りの際に用いるプラスチック製のルアー（疑似餌）に関するものであり、特に、プラスチックルアーが持つ外観的な模擬形態（外観的なデザイン）を損なうことなく、且つ、使用時に魚のごとく本体を屈曲させながら動くことを可能にしたプラスチックルアーの構造に関するものである。

【0002】

## 【従来の技術】

周知のように、一般的なプラスチックルアーは、釣るべき魚の餌となるような小魚、エビ、虫、昆虫およびこれに類するものをプラスチック成形により具現化したものであり、例えば、図に示すような小魚の形状に似せたプラスチック成形品であり、生餌に代えて釣り糸ラインに連結して使用するものである。従来のプラスチック製ルアーは、プラスチック材による成形品であるため、一体成形のものは硬質で定形的なものであり、そのプラスチックルアーボディーが、使用時において実際の生餌のように屈曲しない。ルアーボディーを数個に分けてつなげることで屈曲するようにしたもの、硬質部材と軟質部材とをジョイントした構造のものなどがあるが、ルアーボディー自体に一体感がなく、魚や小動物に似せたルアーとしての外観デザインを損なうものであった。

## 【0003】

さらにまた、従来のプラスチックルアーにあって、上記する硬質部材と軟質部材とをジョイントした構造のものは、例えば、小魚の頭部側が硬質部材によって形成されていて、この硬質部材に対してのみ釣り針が取付けられるようになっており、このように構成したプラスチックルアーの場合には、軟質部材によって構成されるルアーボディーの後方側に食い付いた魚を釣り上げることができないという問題点を有していた。

## 【0004】

## 【考案が解決しようとする課題】

そこで、この考案は、上記する従来のプラスチックルアーの構成において指摘されている問題点並びに欠点を解消するべく改良したものであって、特に、硬質プラスチックによる構成部材を軟質プラスチックによる構成部材で被覆して、ルアーボディーの外観的デザインを損なうことのないように設計でき、且つ、ルアーボディーが生餌のごとく屈曲するように構成し、屈曲のための弾発性を恒久的に維持するものとして提供でき、さらに、ルアーボディーに対して複数の釣り針を取付け得るようになしたプラスチックルアーを提供するものである。

## 【0005】

## 【課題を解決するための手段】

この考案は、上記する目的を達成するにあたって、具体的には、ルアーボディーの構造部分の一部に、軟質のプラスチック、軟質のシリコンあるいは軟質ゴムによる軟質構造部分を設け、ルアーボディーの一部が反復的に曲がるようになしたプラスチックルアーを構成するものである。

【0006】

さらにまた、この考案は、前記ルアーボディーが硬質の構造部分と軟質の構造部分とで構成されており、前記軟質の構造部分によって前記硬質の構造部分が被覆されているプラスチックルアーを構成するものである。

【0007】

さらにまた、この考案は、前記硬質の構造部分が、分離した少なくとも2つの部材からなり、前記少なくとも2つの部材を弾発性を有する弾発部材によって相互に連結してなり、前記ルアーボディーが、前記弾発部材のまわりに少なくとも30度以上屈曲するようになしたプラスチックルアーを構成するものである。

【0008】

さらにまた、この考案は、前記分離した少なくとも2つの硬質の部材が、ルアーボディーの長さ方向に背反する端部側に位置し、前記分離した少なくとも2つの硬質の部材に対して釣り針を取付けてなるプラスチックルアーを構成するものである。

【0009】

さらにまた、この考案は、前記弾発部材が、弾発性を有するワイヤー、形状記憶合金製の線状体あるいは板状体などでなるプラスチックルアーを構成するものである。

【0010】

【考案の実施の態様】

以下、この考案になるプラスチックルアーについて図面に示す具体的な実施例にもとづいて詳細に説明する。図1は、この考案にかかるプラスチックルアーについての具体的な実施例を示すものであって、図1Aは、釣るべき魚の餌としての小魚を具現化したプラスチックルアーの外観的な形態を示す概略的な側面図、図1Bは、図1における1B-1B線に沿った概略的な断面図、図1Cは、図1に

おける1C-1C線に沿った概略的な断面図、図1Dは、当該プラスチックルアーにおける内部構造体の具体例を示す概略的な側面図である。

【0011】

まず、この考案の基本構成によれば、前記プラスチックルアー1は、その一例において、釣るべき魚の餌としての小魚を具現化するものであり、ルアーボディー2によって構成される。前記ルアーボディー2は、外観的には、小魚を具現する頭部3、尾部4、背部5、腹部6を有しており、頭部3の左右両側部には、小魚の目玉を具現する目玉部7を備えている。

【0012】

この考案になるプラスチックルアー1におけるルアーボディー2は、比較的に機械的強度のある硬質プラスチックにより形成される硬質構造部分8と、軟質のプラスチックあるいは軟質のシリコンあるいは軟質ゴム材により形成される軟質構造部分9とによって、ルアーボディー2の一部が反復的に曲がるように構成されている。前記ルアーボディー2は、基本的な構成において、前記軟質構造部分9によって前記硬質構造部分8が被覆されていて、生餌に近似した肌触り並びに一体感のある外観デザインのルアーボディーを構成する。

【0013】

より具体的には、前記ルアーボディー2における前記硬質構造部分8は、図1に示す一実施例において、2つに分離した第1の硬質部材11と第2の硬質部材12とによって構成されており、前記第1の硬質部材11と前記第2の部材12とは、弾発性を有する弾発部材10によって連結されている。前記2つに分離した第1の硬質部材11と第2の硬質部材12とは、ルアーボディー2の長さ方向に背反する両端部側に位置するように設計されており、例えば、前記第1の硬質部材11によって前記ルアーボディー2における頭部3側が構成されており、前記第2の硬質部材12によって前記ルアーボディー2における尾部4側が構成されている。この考案において、ルアーボディー2における硬質構造部分8は、図に示す一実施例のもののように、2つに分離した構成のものにのみ限定されるものではなく、3つに分離されていて、互いに弾発部材10によって連結された構成をも含むものである。

## 【0014】

前記第1の硬質部材11と第2の硬質部材12とは、前記弾発部材10によって連結されるとともに、その周囲は、図1Bに示す通り軟質構造部分9によって構成されており、あたかも主骨のまわりに肉が付いているがごくの構造になっていて、前記ルアーボディー2は、前記弾発部材10のまわりにかなり自由に、且つ、反復的に屈曲するようになっている。

## 【0015】

この考案において、前記弾発部材10は、弾発性を有するワイヤーあるいはピアノ線のような線状体、形状記憶合金製の線状体あるいは板状体などによって形成されており、機械的強度の高いものからなっている。

## 【0016】

さらに、この考案において、前記分離した2つの硬質部材のうち、前記第1の硬質部材11に対して、釣り糸ライン連結用リング部材13並びに第1の釣り針16を取り付けるための第1の釣り針取付けリング部材14が取り付けられており、前記第2の硬質部材12に対して、第2の釣り針17を取り付けるための第2の釣り針取付けリング部材15が取り付けられている。前記釣り糸ライン連結用リング部材13、第1の釣り針取付けリング部材14および第2の釣り針取付けリング部材15は、硬質プラスチックでなる硬質部材11、12に対して取り付けられており、機械的な強度を維持できる。

## 【0017】

## 【考案の効果】

以上の構成になるこの考案のプラスチックルアーは、構造が簡単であり、製造が容易であって、多量生産に適合し得る点において、経済的にも極めて有利に作用するものであり、さらに、構成部材が少ないものであるという点においても極めて実効性の高いものであるといえる。

## 【0018】

さらに、この考案になるプラスチックルアーは、ルアーボディーを硬質構造部分と軟質構造部分とで構成し、軟質構造部分によって硬質構造部分を被覆したことにより、生餌に近似した肌触り並びに一体感のある外観デザインのプラスチック

ルアーを供し得る点において極めて有効に作用するものといえる。

【0019】

さらにまた、この考案になるプラスチックルアーは、分離した少なくとも2つの硬質構造部材を含み、この少なくとも2つの硬質構造部材を弾発性を有する弾発部材によって相互に連結した結果、第1には、あたかも主骨のまわりに肉が付いているがごとくのルアーボディーを構成することができ、弾発部材のまわりにかなり自由に、且つ、反復的に屈曲するルアーを供し得る点、第2には、少なくとも2つの硬質構造部材に対してそれぞれ釣り針を取り付けることができる点などにおいても極めて有効に作用するものといえる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

図1は、この考案にかかるプラスチックルアーについての具体的な実施例を示すものであって、図1Aは、釣るべき魚の餌としての小魚を具現化したプラスチックルアーの外観的な形態を示す概略的な側面図、図1Bは、図1における1B-1B線に沿った概略的な断面図、図1Cは、図1における1C-1C線に沿った概略的な断面図、図1Dは、当該プラスチックルアーにおける内部構造体の具体例を示す概略的な側面図である。

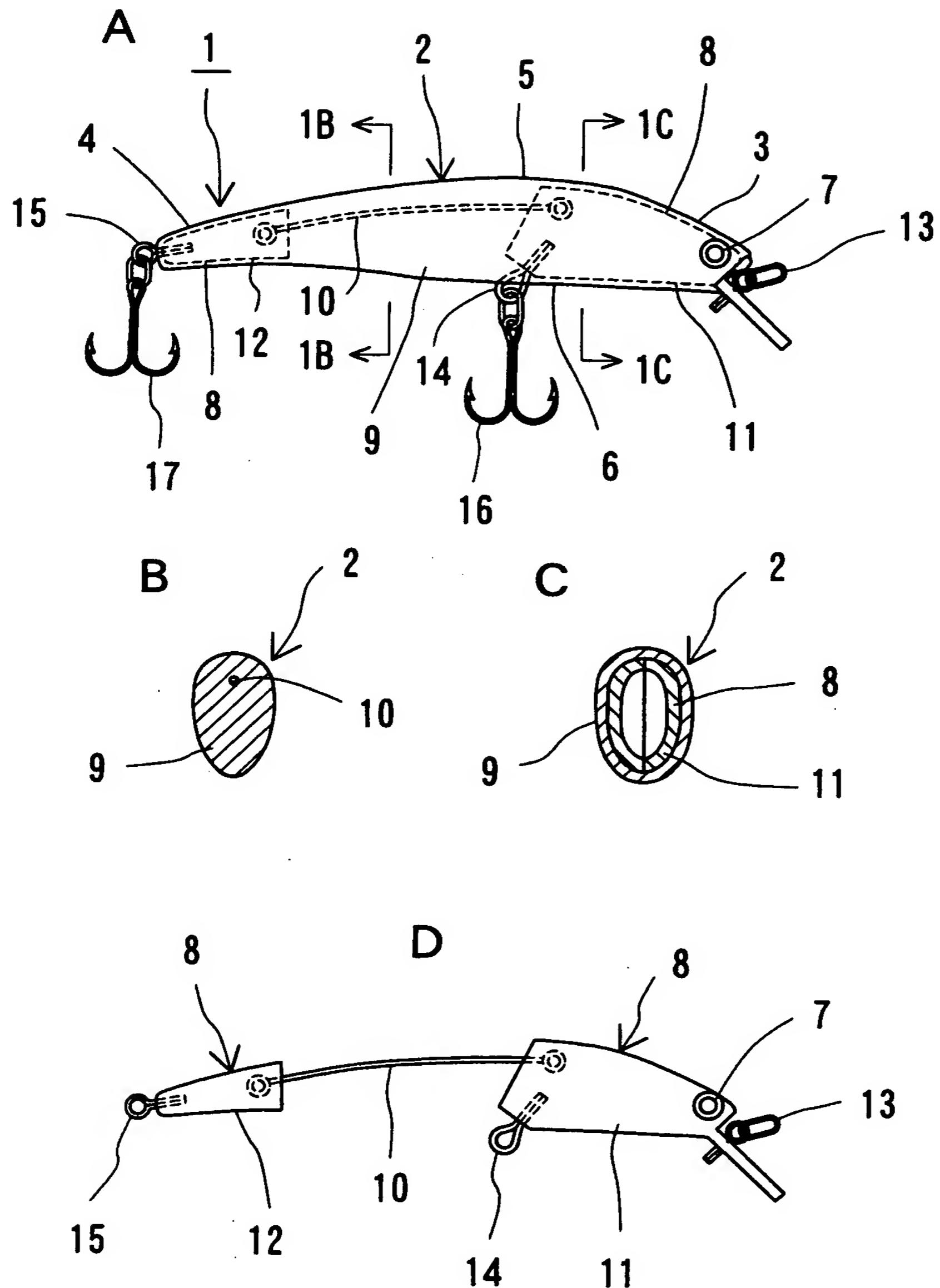
【符号の説明】

- 1 プラスチックルアー
- 2 ルアーボディー
- 3 小魚を具現する頭部
- 4 尾部
- 5 背部
- 6 腹部
- 7 目玉部
- 8 硬質構造部分
- 9 軟質構造部分
- 10 弹発部材
- 11 第1の硬質部材

- 1 2 第2の硬質部材
- 1 3 釣り糸ライン連結用リング部材
- 1 4 第1の釣り針取付けリング部材
- 1 5 第1の釣り針取付けリング部材
- 1 6 第1の釣り針
- 1 7 第2の釣り針

【書類名】 図面

【図1】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 プラスチックルアーが持つ外観的な模擬形態（外観的なデザイン）を損なうことなく、且つ、使用時に魚のごとく本体を屈曲させながら動くことを可能にしたプラスチックルアーを提供すること。

【解決手段】 ルアーボディー2を硬質構造部分8と、軟質のプラスチック、軟質のシリコンあるいは軟質ゴムによる軟質構造部分9で構成し、ルアーボディーの一部が反復的に曲がるようにし、軟質構造部分によって硬質構造部分が被覆されおり、硬質構造部分が、分離した少なくとも2つの部材からなり、少なくとも2つの部材を弾発性を有する弾発部材10によって相互に連結してなり、ルアーボディーが弾発部材のまわりに少なくとも30度以上屈曲するようになしたプラスチックルアー。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [300023235]

1. 変更年月日 2000年 3月13日  
[変更理由] 新規登録  
住 所 滋賀県大津市今堅田3丁目18番17号  
氏 名 株式会社ジャッカル

2. 変更年月日 2002年 8月27日  
[変更理由] 住所変更  
住 所 滋賀県大津市真野五丁目22番7号  
氏 名 株式会社ジャッカル